

平成21年度第3四半期までの運用状況等

(平成21年4月～12月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っており、法令に基づき策定しました「独立行政法人農業者年金基金中期計画」において、四半期ごとに運用に関する情報を、本資料をもってホームページで公表することとしております。

なお、毎年6月末日までに被保険者等の皆様に送付させて頂いております「運用（付利）結果のお知らせ」の基礎となります前年度の運用成績につきましては、毎年度の末日における運用収入の額が基準となります。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思っておりますので、皆様のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成20年3月31日認可）－抜粋－

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公開するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

目 次

	頁
1. 平成21年度第3四半期まで（平成21年4月～12月）の運用環境について	1
2. 平成21年度第3四半期まで（平成21年4月～12月）のポートフォリオ別の運用状況 . . .	2
3. ベンチマーク・インデックスの推移	4
参考：用語の説明	5

1. 平成21年度第3四半期まで（平成21年4月～12月）の運用環境について

○国内外の金融・経済情勢について

（第1四半期）

国内外の株式市場は、米金融システムに対する不安が後退したことや、経済指標の一部改善などを受けて、景気の底入れ期待感などを背景に、世界的に株価が上昇傾向となりました。このような中、日経平均株価は6月中旬に約8ヶ月ぶりに一時1万円台を回復しました。

（第2四半期）

米国の各種経済指標が市場予想を上回り改善したことや米企業の決算発表が良好だったことなどから、国内外の株式市場は上昇しました。しかしながら、9月に入り、外国株式は引き続き堅調に推移しましたが、国内株式は、円高による輸出企業の業績悪化懸念などにより下落しました。

為替は、米国の低金利政策が長引くとの見方などから、円やユーロに対してドル安となりました。

（第3四半期）

第2四半期に引き続き米国株式をはじめとする世界の株価は上昇傾向となりましたが、国内株式は大型の増資による需給悪化懸念や円高の進行により、11月まで下落し、外国株式との格差は拡大しました。しかしながら、12月に入り、日銀の追加金融緩和策などにより円安が進んだことなどから、国内株式は上昇しました。

為替は、ドバイの債務問題により消去法的に円が買われたことなどから、11月下旬に円は一時84円台と、14年ぶりの円高水準となりましたが、12月に入り、米国の雇用統計の改善などにより、超低金利政策の長期化観測が後退したことなどを背景に、日米の金利差が拡大したことなどから、円安が進行しました。

（注）資産毎の「ベンチマーク・インデックスの推移」を4ページに掲載しておりますので、ご参照下さい。

2. 平成21年度第3四半期まで(平成21年4月～12月)のポートフォリオ別の運用状況

① 被保険者ポートフォリオ

平成21年度第3四半期まで(平成21年4月～12月)の被保険者及び待期者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成21年12月末の時価総額は1,311億67百万円となり、第3四半期までの総合収益は88億14百万円となりました。また、修正総合利回りは7.56%となりました。

(単位:百万円、%)

資産	平成20年度末 時価総額 ①	第3四半期までの 保険料・国庫補助 投下額②	計 ③(①+②)	平成21年12月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第3四半期までの 総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利回り
国内債券	81,805	3,977	85,782	87,078	66.4	1,295	1.54
国内株式	13,891	224	14,115	16,645	12.7	2,530	18.12
外国債券	5,568	551	6,119	6,206	4.7	87	1.44
外国株式	10,778	1,585	12,363	17,285	13.2	4,921	39.69
短期資産	170	3,803	3,973	(注)2参照 3,953	3.0	-20	-6.67
合計	112,212	10,141	122,353	131,167	100.0	8,814	7.56

(注) 1. 「第3四半期までの保険料・国庫補助投下額②」では、受給権者ポートフォリオ等への繰入額が除かれています。

2. 平成22年分「前納納付の保険料」等の基金への集中が12月末であったことによるものです。

3. 有価証券の保管手数料及び外貨流動性預金に係る為替差損益等は、短期資産で整理しています。

4. 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります(以下同じ)。

(参考)

平成21年度第3四半期(平成21年10月～12月)の運用状況

(単位:百万円、%)

資産	平成21年9月末 時価総額 ①	第3四半期保険料・ 国庫補助投下額②	計 ③(①+②)	平成21年12月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第3四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利回り
国内債券	85,704	979	86,682	87,078	66.4	395	0.46
国内株式	16,216	410	16,625	16,645	12.7	20	0.12
外国債券	6,090	-51	6,039	6,206	4.7	167	2.74
外国株式	15,913	-78	15,835	17,285	13.2	1,450	9.11
短期資産	158	3,793	3,952	3,953	3.0	2	0.39
合計	124,081	5,053	129,133	131,167	100.0	2,034	1.62

② 被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成21年度第3四半期まで(平成21年4月～12月)の被保険者及び待期者に係る付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

区 分	資 産	平成20年度末 時価総額 ①	第3四半期までの 繰入額②	計 ③(①+②)	平成21年12月末 時価総額 ④	第3四半期までの 総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
付利準備金	短期資産	66	734	799	800	0	0.04
調整準備金	短期資産	452,432	-6,976	445,456	446,431	975	0.22
合 計		452,498	-6,243	446,255	447,231	976	0.22

(注)「第3四半期までの繰入額②」では、被保険者ポートフォリオからの受入額が含まれ、受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額が除かれています。

③ 受給権者ポートフォリオ

平成21年度第3四半期まで(平成21年4月～12月)の受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

資 産	平成20年度末 時価総額 ①	第3四半期までの 繰入額②	計 ③(①+②)	平成21年12月末 時価総額 ④	第3四半期までの 総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	2,715,588	1,325,969	4,041,558	4,106,193	64,635	1.96
短期資産	65,695	41,287	106,982	107,046	64	0.05
合 計	2,781,284	1,367,256	4,148,540	4,213,239	64,699	1.89

(注)「第3四半期までの繰入額②」では、被保険者ポートフォリオからの受入額が含まれています。

④ 受給権者危険準備金ポートフォリオ

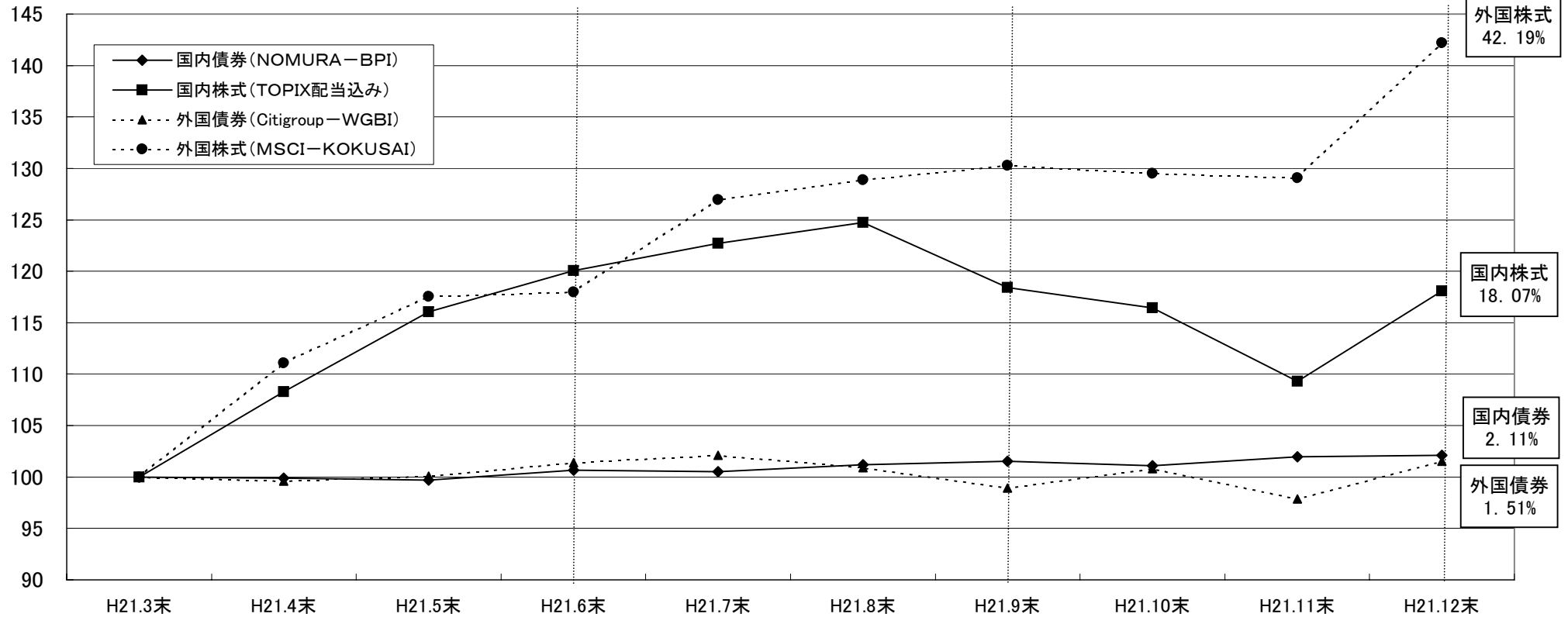
平成21年度第3四半期まで(平成21年4月～12月)の受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

区 分	資 産	平成20年度末 時価総額 ①	第3四半期までの 繰入額②	計 ③(①+②)	平成21年12月末 時価総額 ④	第3四半期までの 総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
調整準備金	短期資産	267,039	45,652	312,691	313,234	543	0.20

(注)「第3四半期までの繰入額②」では、被保険者ポートフォリオ等からの受入額が含まれています。

3. ベンチマーク・インデックスの推移 (H21.3末=100)



○運用環境

	平成21年3月末	平成21年6月末	平成21年9月末	平成21年12月末
国内債券(新発10年国債利回り)	1.342 %	1.350 %	1.291 %	1.285 %
(NOMURA-BPI総合)	316.237 ポイント	318.284 ポイント	321.104 ポイント	322.921 ポイント
国内株式(日経225)	8,109.53 円	9,958.44 円	10,133.23 円	10,546.44 円
(TOPIX配当込)	945.72 ポイント	1,135.59 ポイント	1,119.67 ポイント	1,116.60 ポイント
外国債券(米国10年国債利回り)	2.665 %	3.535 %	3.307 %	3.839 %
(Citigroup-WGBI)	313.82 ポイント	318.25 ポイント	310.49 ポイント	318.55 ポイント
外国株式(NYダウ)	7,608.92 ドル	8,447.00 ドル	9,712.28 ドル	10,428.05 ドル
(MSCI-KOKUSAI)	804.538 ポイント	949.400 ポイント	1,048.115 ポイント	1,143.938 ポイント
為替レート(対ドル)	98.77 円	96.49 円	89.54 円	93.10 円
(対ユーロ)	131.14 円	135.33 円	130.87 円	133.57 円

用語の説明

○ ポートフォリオ

性質が同じ資金をまとめて運用するための運用単位のこと(同義語 ファンド)。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ ベンチマーク・インデックス

各資産を代表する銘柄から構成される指標のこと。それぞれの資産を運用する基準として、基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融経済研究所が作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付債から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

* Citigroup-WGBI(日本を除く)

シティグループが作成している外国債券市場の指標。主要先進国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

* MSCI-KOKUSAI(配当込)

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。